



' 16

題字：本校書道教諭
坪井 宏(号 工鷹)先生書

第30回 在京芸陽観音同窓会のご案内

記

地下鉄日比谷線・六本木駅 1C 出口 3分
大江戸線六本木駅 3 出口 6分

- 日時** 平成 28 年 10 月 2 日 (日)
11 時 30 分 受付開始
12 時～14 時 同窓会
(事業報告・懇親会)
- 場所** 六本木ヒルズクラブ (地図参照)
〒106-6151
東京都港区六本木 6 丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー 51 階
TEL 03-6406-6001
- 会費** 男性 8,000 円 女性 7,000 円
- 記念行事** 「いしづみミニコンサート」
昭和 20 年 8 月 6 日、原爆により全滅した二中 1 年生 321 名の悲劇を歌った合唱曲です。
朗読：蒔村 三枝子 (観音 23 回)
ピアノ：高嶋 圭子 (観音 32 回)
合唱：観音高校 OB 合唱団ほか。



<http://www.roppongihillsclub.com/visitor/dfw/jp/index.html>

- 出席確認** 同封の郵便振替用紙により出席を確定させていただきます。
尚、準備の都合上、振り込み期限は9月10日(土)とさせていただきます。
また、振込後9月16日(金)までに出席取り消しを当番幹事に連絡いただきましたら会費は返納致します。
- その他** 皆様の周りで本案内が届いていない方、出席をご希望の方がいらっしゃいましたら、下記当番幹事までご連絡ください。折り返し案内と振り込み用紙を送らせていただきます。ご友人とお誘い合わせの上ふるってご参加ください。

在京芸陽観音同窓会

- 会長** 松本 直和 (観音 20 回) TEL 090-5428-3364 E-mail nac03015@nifty.com
- 当番幹事** 玉垣 俊彦 吉岡 豊 松井 明子 (観音 25 回)
小松 一彦 三谷 啓子 福田 修子 (観音 31 回)
- 代表連絡先** 玉垣 俊彦 TEL 090-3068-0497 E-mail t-tamagaki@p-advance.jp

同窓会会長挨拶



松本 直和 (広島観音 20回)

昨年10月の在京芸陽観音同窓会総会で、松本会長(広島二中22回)の後任として、会長に選任され、今年4月に就任し新たな体制で臨むこととなりました。

松本前会長には、2012年より2016年3月までの5年間に在京芸陽観音同窓会の舵取りと、広島同窓会のパイプ役、永年の在京同窓会報発行、また被爆者慰霊等ご活動いただきました。厚くお礼申し上げます。

新たな体制は、副会長に片田元己さん(観音16回)、齋藤敏文さん(事務局担当、観音23回)、理事に太田信三さん(会報発行担当、観音24回)、三谷啓子さん(同・観音31回)、佐々木孝治さん(観音35回)、そして会長の私を含めて計6名です。理事会メンバーとしてはかなり若返りしましたが、会の運営には未熟ですので、同窓会会員の皆様

今年、この同窓会が発足して30年目に当たります。30年前の総会には、広島二中の同窓生百二十人が会場に集まったと伺っています。最近では一昨年、昨年と当番幹事さんのご尽力もあって、80人ほどの同窓生に参加いただきました。今年30周年記念として多数の同窓生に参加いただき、総会を盛り上げていただけるとを期待しています。

とは言え、在京芸陽観音同窓生数は観音28回生の58名をピークに減少傾向にありまして、会員数は、広島同様減少傾向です。今年はともかく今後の総会への参加者も減少が予想される中、参加しやすい環境づくりを模索していきたいと思えます。まずは理事会メンバーに女性理事を1名増員して、気軽に参加できる雰囲気造りを目指したいと思います。また、会員各位のご協力をよろしく願います。

昨年暮れに、映画スター・ウォーズ フォースの覚醒を見ました。今から38年前に第一作スター・ウォーズ 新たなる希望が上映されました。その後数作の続編が上映されましたが、最新作では、マーク・ハミル(ルーク・スカイウォーカー)、ハリソン・フォード(ハン・ソロ)、そしてキャリー・フィッシャー(Leia姫)が夫々おじいちゃんおばあちゃんになって出演

30周年を記念する御寄付のお願い

在京芸陽観音同窓会も、30周年を迎え、世代交代して、より大きく発展する兆しが見えて来ました。その未来への明るい展望を御寄付を、どうぞ宜しくお願い申す。

なお、御寄付の振込方法につきましては、最終頁の「事務局からのお知らせ」に詳細を記載しておりますので、そちらを参考にしてください。

在京芸陽観音同窓会会長 松本 直和

してしまいました。その姿を見て懐かしく思ったのは私だけではないと思えます。同窓会も偶に会って互いの元気な様子や高校時代からの変わりようを話題にするいい場だと思いませんか。最後に4月に起きた熊本県を中心とする震災で被災された方々にお見舞いを申し上げます。

在京芸陽観音同窓会 30周年に来てみんさい



玉垣俊彦 (広島観音 25回)

芸陽観音同窓会は、今年創立94年で、その会員数は三万三千人を超えることになりました。94年という年月を単純に年齢に落とし込めば、同窓生の下は十九歳、上は百十三歳となり、家族で言えば四世代くらいになります。四世代のそれぞれの高校時代はどんなものだったのでしょうか?それぞ

れ時代が違うのですから高校生活も違います。しかし、16歳から18歳までがもつ特有なものには共通項があると思えます。それは一般的に言われる青春、汗だつたり涙だつたり、喜びだつたり哀しみだつたり、たまらない劣等感だつたり。あの年代は思いっきり何でも出来る年代です。思いっきり喜び、思いっきり楽しみ、思いっきり悲しむ。そんな三万三千人の青春を、あのグラウンドやあのポプラ並木や時代時代の校舎が、静かに見守ってくれていました。そう考えると、改めて、母校芸

陽観音をいとおしく感じると同時に、今も心の片隅に息づいている青春の日々がよみがえります。

そんな同窓生の中で、仕事や結婚など、縁あって関東で暮らしている方がいらつしやいます。その集まりとして在京芸陽観音同窓会が毎年開催されており、今年で30周年を迎えます。大変恥ずかしながら、私は去年初めて出席いたしました。二中、観音高校の先輩、後輩の方と初めてお会いし、今まで名前も知らなかったのに、すぐに分かり合えるという不思議な体験をしました。この年になって、仕事以外で、新しい先輩、後輩がやってくる。それはとても心地よいものでした。同世代の懐かしい話題もたくさん出ました。

- キリマンジャロの校舎
- 夏暑く、冬寒い校舎でした。
- 同窓会館1階の食堂
- メニューの話はつきません。うどんとラーメンのだし汁は一緒だつたよなあ。
- ラーメン屋豊坊いろいろなラーメン食べたけど高校時代に食べたあのラーメンの味が忘れられない。
- 舟入本町のソフトクリーム屋
- 観音高校生御用達の甘党の店です。
- 新観音橋の横にあつた観音橋ももう無くなつていますが、あの凸凹の橋が妙に懐かしい。

世代が変われば話題も違うかもしれないが、どの話を聞いても心にしみます。縁あって関東に暮らしている同窓生の皆様、是非、在京芸陽観音同窓会に参加下さい。特に以下の方、ご参加下さい。

●二中、観音高校の昔や今の話をしたい、聞きたい。
●二中、観音高校の先生の話をしたい。

●広島カープの話をしたい。
●広島のお酒が大好き。

●広島弁を思いつきりしゃべりたい。

最後に30周年記念行事の御案内を致します。OB合唱団東京支部、橋本篤範さん(観音30回)のご尽力で「いしづみミニコンサート」を同窓会で開催出来る事となりました。朗読は蒔村三枝子さん(観音23回)、ピアノは高嶋圭子さん(観音32回)です。皆様、是非日程をご調整のうえ参加を御願いたします。

『第29回在京芸陽観音同窓会』開催報告

第29回当番幹事 太田 信三

(広島観音24回)

昨年10月3日、好天に恵まれた秋空の下、第29回在京芸陽観音同窓会が、一昨年と同じ、六本木ヒルズ51階の「六本木ヒルズクラブ」で開催さ

れました。

開催を企画するに当たっては、一昨年同様、当番幹事の同級生に対して、在京者の還暦同窓会としたい旨の呼びかけを行った他、次回以降の参加者拡大を考慮し、これまで参加実績の無い一回下の25回生に対しても積極的な呼びかけを行い、参加者は全体で、百名超過を目標としましたが、最終的には84名に終わりました。しかし、一昨年の75名より9名増加した他、25回生にも6名参加して頂き、且つ、今年の幹事を務めて頂く確約を得る等、今後繋がる成果を達成出来たものと自負しています。

当日の司会進行は、一昨年に続き、31回生で、理事も務めて居られる、プロのアナウンサーである三谷啓子さん(観音12回)に開会しました。最初に、広島二中時代の先輩である松本正会長から立派な会場で昨年にも勝る沢山の参加者を迎え喜ばしい、広島二中から観音高校へ無事同窓会活動も引継ぎこれからもこの同窓会をにぎやかに続けていって欲しい、とのお言葉を頂きました。

次いで、瀧山副会長の事業報告、榎野副会長の乾杯挨拶の後、歓談に移行しました。中盤では、あの原爆で観音高校の前身である広島二中一年生が全員亡くなった痛まし



い歴史を取り上げた、広島テレビ制作の「それぞれの碑」のダイジェスト版を上映しました。番組で取り上げられていた観音高校OB合唱団は毎年のように各地で「レクイエム碑」を歌いつづけ、原爆の悲劇を将来に語り継ぐ活動を行っています。

また、司会者が歓談の合間を縫って、適宜、各参加者に現状報告の発言を誘い、座を盛り上げて行きました。終盤の校歌斉唱では、プロの作曲家である32回生高嶋圭

子さんのピアノ伴奏と、観音高校OB合唱団の一員として各地での公演に参加していらっしゃる30回生橋本篤範さんと山上園子さんの歌唱指導で、二中と観音高校の校歌を歌い学生時代に思いを馳せました。

なお、今年の同窓会も、六本木ヒルズでの開催を予定しています。

在京芸陽観音同窓会は関東地区の同窓生の繋がりのおかげで今後とも提供し続けていく所存ですので、卒業生の皆さん奮ってご参加下さい。

「いしづみコンサート」にかける想い

去る7月10日、新宿区西早稲田にある早稲田奉仕園スコットホールにて、広島県立広島観音高等学校音楽部OB合唱団東京支部と、観音23回生で俳優の蒔村三枝子さんによる、合唱と朗読による「いしづみコンサート」が開催されました。

そこに、昨年の同窓会総会の席上で、校歌の合唱指導をして下さった、OB合唱団の一員である30回生橋本篤範さんと、ピアノ伴奏の32回生高嶋圭子さんも、共に参加して居られましたので、この物語と深いかかわりをお持ちの、

同窓会前会長の二中22回生松本正さん、そして朗読を担当された蒔村三枝子さんと合わせて、このコンサートにかけてそれぞれの想いを語って戴きました。



「寂しさ」と「期待」と



松本 正 (二中 22期)

昭和62年に東京大手町で旗揚げして以来関わって来た「在京芸陽会」。後日に「在京

芸陽観音同窓会」と改めたが、「同窓会をやるなあええが、二中だけにしてくれよ」との声に逆らって今日まで来た。会長をはじめ全ての役職から退いて全く寂しくないと言えばウソになるかも知れないが、それを凌駕するものが、後を引き継いでくれている観音組への敬意と期待であります。

大自然の摂理には逆らえず、二中組は次々と住処を彼岸へ移していく。同期会が老化でサヨナラとなるのに比べ、「芸陽観音同窓会」は続々後輩が産まれるのだから心強い。

もう3年前になるが、同窓会広島本部へ在京会会長として挨拶に伺ったことがある。VIP待遇をしてくれた。トイレへの途中呼び止められた。その前年、千駄ヶ谷の津田ホールに於ける「レクイエム碑」コンサートでピアノを弾いてくれた奈良康佑さん（観音29回）だった。打ち上げの席で、私が、弟も含め「いしぶみ」に刻まれている故1年生の為に歌ってくれて有難うと礼を言ったのを覚えてくれていたのだ。世界的に活躍している名ピアニスト。

7月には《合唱と朗読による「いしぶみ」コンサート》で彼の名演奏との再会も果たした。朗読の蒔村三枝子さん、アルトの山上園子さんらとも旧交を温めることが出来た。やっっぱり同窓会は楽しい。了

合唱と朗読による「いしぶみ」コンサートを終えて

広島県立広島観音高等学校音楽部OB合唱団(東京支部)



橋本 篤範
(広島観音 30回)

平成12年7月、20数年振りに音楽部の同窓会が広島市で開催されました。

その際、「また高校時代の仲間と、そして恩師益田遙先生と一緒に合唱を楽しみたい」という声があがり、平成13年1月に結成された広島県立広島観音高等学校音楽部OB合唱団。

平成14年8月、第一回の演奏会を開催し、今年8月7日(日)の第15回記念コンサートに至るまで、毎年、広島市で「混声合唱のためのレクイエム『碑』」をメインステージとした演奏会を行っています。

「混声合唱のためのレクイエム『碑』」は、昭和20年8月6日、爆心地から五〇〇mの距離で建物疎開作業中に全滅した旧制広島県立広島第二

中学校の一年生三百二十一人の悲劇を歌った合唱曲です。平成24年8月5日には、「ヒロシマの悲劇を東京の方々に知ってもらいたい」との強い思いから、地元広島市以外で初めてとなる「祈念コンサート東京公演」を東京千駄ヶ谷の津田ホールで開催したほか、大阪府高槻市、愛媛県松山市でも「混声合唱のためのレクイエム『碑』」を歌い続けてきました。

昨年10月に開催された「第29回在京芸陽観音同窓会」では、皆様方と共に広島二中校歌と観音高校校歌を声高らかに歌いましたが、その席上でも、OB合唱団の東京再公演を期待する声がありました。OB合唱団の活動にご理解をいただき、団員一同励みとっております。

OB合唱団全員による東京再公演は叶いませんでしたが、今年7月10日(日)、OB合唱団の東京支部メンバー9名と舞台を中心に活躍の蒔村三枝子さん(観音23回)、ピアニストの奈良康佑さん(観音29回)、作曲家の高嶋圭子さん(観音32回)に協力いただき、また、大学生等の若手メンバーにも加わってもらい、合唱(混声合唱のためのレクイエム『碑』)と朗読(いしぶみ)をコラボレーションさせ

た合唱と朗読による「いしぶみコンサート」を西早稲田にある「早稲田奉仕園スコットホール」で開催しました。当日は、在京芸陽観音同窓会会員の皆様にも、多数ご来場いただきました。ありがとうございました。

今回のコンサートのチラシ、チケット、プログラムのデザインは、広島市在住の金本康民さん(観音30回)に制作をお願いしました。

まさに、観音パワーを集結させたコンサートでした。現在の広島市は、近代的なきれいな街に生まれ変わっております。

しかし、過去に悲惨な出来事があったことを忘れてはいけない、ヒロシマの悲劇を風化させないためにも後世に**あの日にあった事**を継承したいという想いで、メンバー一同**合唱と朗読による「いしぶみコンサート」**を創りあげてきました。

ご来場のお客様にも、「私たちの想い」「ヒロシマの叫び」が少しでも伝わってれば幸いです。

私たちの活動は、とても小さなものかも知れませんが、しかし、**合唱と朗読を通して詩**の種が、いつの日か大きな平和の杜を作ることにつながればと願っています。

今こそ音楽の力で



高嶋 圭子
(広島観音 32回)

はじめまして。観音高校32回生の高嶋圭子と申します。観音高校を昭和56年に卒業し、音楽大学の作曲科への進学のために上京。その後はそのまま東京で音楽活動を続け、振り返ってみれば早いもので高校卒業後35年が過ぎ去りました。その間、作曲家としての音楽活動を続けながら結婚。現在は夫と大学生高校生の二人の娘たちと共に東京・荒川は隅田川の近くに暮らしております。観音高校卒業後は、広島へは年に一度帰省できればいい方で、郷里で暮らす同窓生や部活動の先輩後輩との再会の場はほとんどなく過ごしております。そんな私に転機が訪れたのは今から約4年前の2012年夏のこと。合唱三昧の高校時代に3年間所属していた音楽部の先輩、橋本篤範さん(観音高校30回生)から、音楽部OB合唱団が東京・津田ホールでコンサートを頂戴しました。そのコンサートとは、2002年からOB

合唱団が毎年夏に広島で開催していた「祈念コンサート」を特別に東京でも公演を行うというものでした。コンサート当日、2012年の8月5日猛暑の中駆けつけた津田ホールで、懐かしい音楽部OBの先輩後輩の皆さまとの約30年ぶりの再会の機会を得ることとなったのです。この再会がきっかけとなり、合唱団の指導をなさっている益田遙先生と団員の皆さまとの交流が始まりました。自編曲をOB合唱団で歌って頂くという演奏の機会も頂くこととなり、同時に在京同窓会にも入会させて頂きました。

そんな日々を過ごしていた昨年2015年夏8月6日の午後、私は自宅のピアノレッスンに訪れた小学生の生徒数人に、「今日って何の日か知ってる？」と何気なく尋ねました。当然のように正答が返ってくるはず・・・と思いきや、予想に反して正しく答えられなかった生徒は一人もいませんでした。これには驚きました。私が小学生時代を過ごした広島では毎年夏が来るたびに学校で原爆や戦争の話をかきかされていきましたので、小学生であろうともその事実を知らないという事は、広島県人である私にとってはあり得ないことでした。広島県人でなくとも過去に戦争を体験してきた国の人である限り、原爆のこ

とを知らなかったではすみません。いまま、私たちはあたりまえのように何不自由なく平和な毎日を送っています。それは実は決してあたりまえのものではないのです。最近、音楽家としての自分にできることは何かと自問自答する中で、音楽を通して平和の尊さ戦争の悲惨さを訴え続けていくことができるのでは、と考えるようになりました。そうしてたどり着いた一つの考えが、「4年前に津田ホールでOB合唱団が歌った広島二中の悲劇を歌った合唱組曲『碑』を東京でも歌い継ぐことはできないだろうか。」というものでした。そのきっかけの一つにでもなればと、私は勇気をもって昨年10月初めに在京芸陽観音同窓会に参加することにしました。参加してみると驚くほど多くの卒業生の方々が東京近郊でご活躍のことと知り、たくさんの先輩方と繋がることのできたのは大変光栄なことでした。そして願が叶い、本年7月10日には先輩で俳優の蔦村三枝子さんと共に、合唱と朗読による「いしづみコンサート」を早稲田奉仕園スコットホールにて開催することができました。これも在京同窓会の皆様のおかげで支えられています。これも観音高校卒業生の一人と

して「碑」を歌い継ぎ、音楽によって平和な広島と平和な日常を守っていききたい、そう強く思うのです。

「いしづみ」



蔦村 三枝子 (広島観音 23回)

「いしづみ」は広島テレビによって1969年10月に制作・放送されたドキュメンタリー番組です。

被爆死した旧制広島二中一年生の被爆から亡くなるまでの様子を、広島出身の女優の杉村春子さんが淡々と読み上げるこの番組に、当時、観音高校演劇部の一年生だった私は、大きな衝撃を受けました。その頃の演劇部は原爆をテーマにした創作劇を毎年上演していた、私も、自分が被爆二世であることを強く意識し始めた頃でした。

番組の放送からしばらくたって、当時広島テレビのアナウンサーだった演劇部の先輩、脇田義信さんから「いしづみ」の放送台本が演劇部に届けられました。その台本を手にしたとき、いつか「いしづみ」を朗読し

てみたいという思いが沸きあがってきました。まだ、演劇の道に進むとは思っていませんでした。高校一年生の頃です。

卒業後上京し舞台俳優としての道を歩き始め、40年の時が過ぎました。

いつか、「いしづみ」をという思いはずっと抱き続けていましたが、まだ早い、まだまだ……という思いで、なかなか実現できないでいました。その間に三つの広島をテーマにした作品を上演し、どの作品も再演を重ねられるようになって私のライフワークと呼べる作品になりました。

2000年からは一人芝居「広島にチンチン電車の鐘が鳴る」、2014年からは「父と暮らせば」、2015年からは「少年口伝隊」の公演を行っていきます。

今年、4月に「広島にチンチン電車の鐘が鳴る」を上演し、8月に「父と暮らせば」と「少年口伝隊」を上演しました。

少しずつ「いしづみ」の朗読のための下地が出来てきたように思えるようになってきた頃、観音高校音楽部OB合唱団の東京支部の皆さまから、レクイエム「碑」と「いしづみ」の朗読による「いしづみコンサート」のお話を頂きました。OB合唱団のレクイエム「碑」は何度か聞かせていただいていた、毎回感動して涙

が止まりませんでした。そのOB合唱団の皆さんと、7月10日に「いしづみコンサート」を上演させていただきました。

高校時代に抱いた夢が、四十数年の時を経て小さな実を結びます。

今、私は「いしづみ」を朗読なさった当時の杉村春子さんと同年代になりました。

OB合唱団の皆さまとの「いしづみコンサート」、一歩を踏み出します、この作品を長く歌い継ぎ語り続けていけるよう、一歩ずつ前に進んでいけたらと思っています。

*同期会報告

「ネギの会、半寿で広島に集う」

山本 和雄 (広島観音3回)

昨年の9月吉日に、杉並区長から私の許に、「八十一歳のお祝いによせて」と言う挨拶状と、祝いの品の目録が届いた。八十一歳は、傘寿に一を加えた「半寿」と言うめでたい年齢となるらしい。

興味本位に広辞苑等を開いたが見当たらず、漸く「よくわかる三省堂の辞典」で、その旨を確認した。これを機に、2年前の傘寿に引き続き、再び広島で、28回目となるネギ

の会が実現した。

図らずも、戦後70年を迎えた原爆ドームに近いホテル「相生」が邂逅の舞台となった。現在の会員24名中16名の参加で、春の大阪ネギの会に出席した女性2名を加えると、今年7割の参加率となる。

今は亡き小川幹事が、「西年は雀、鳩に似て、その多くが群れを作りたがるもの…」と同窓誌に書いていたが、こうした互いの交流が、我々には不思議な若さと、生へのエネルギーをもたらすものらしい。当初の会員29名中、物故者は5名で、国の平均死亡率を遙かに下回る。

この少ない物故者の中で、今年(2015年)3月半ばに惜しむべき友人を失った。楽しかった大阪でのネギ交換会の翌日、私に届いた訃報は、正に天国から地獄へ突き落された思いであった。

矢沢朝乃さん程、バランス感覚に優れた友人は、私にとつて数少ない存在で、初対面から十年來の知己の如き交遊であった。

彼女の死を悼み、全員の黙祷で始められた半寿の会であったが、終始談笑が絶えることは無く、予定の4時間が経過した。次回の予定としていた米寿を待ち切れず、今後は毎年、出合いの日を得たいと言う意向が圧倒的で、次回を約し、会は和やかに終了した。

私は、実なる若返りの秘策として、次回のテーマに、「初恋談義」を提案したいと考えている。そもあれ、当日リフレッシュした全員の写真で、若さをご確認頂ければ幸いです。

(出席者氏名)
後列

山廣、坪井、増田、松本、味埜、宇都宮、平山、横田

前列

山木、嶋田、河本、谷本、西尾、柴村、藤永、木村



在京11期会

藤井 明 (広島観音11回)

平成28年1月16日(土曜)に在京の11期会を行いました。集合写真を添付します。



場所は東京駅日本橋口の「過門香」です。

在京11期30名中11名の参加で、卒業以來初めて顔を会わせた者もあり、恩師のこと、各自の卒業以來の軌跡、現在の趣味、スポーツのことを述べあいました。前期高齢者最後の年ですが、集まった皆は元気です。書道の先生、シャッソン、バイオリン、テニス、競技スキー、ウォーキング、写真等大いに楽しんでいきます。会に出られなかった者に鬼籍に入った者、腰痛・神経痛等持病の悪化した者の報告がありました。

大盛会のうちに來年の幹事と、1月21日(土曜)に開催することを決め、校歌を歌い、

記念写真を撮り、次回の再会を期し別れました。

24回生3年B組
在京クラス会

入矢 桂史郎 (広島観音24回)

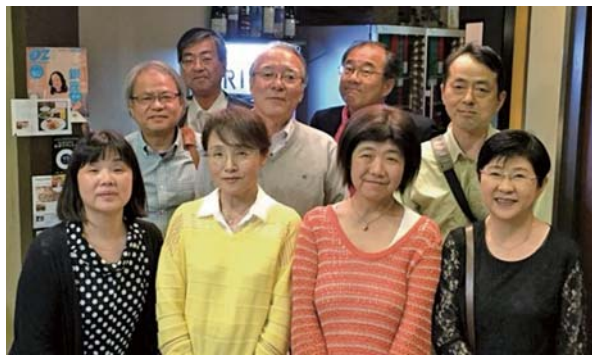
クラスメートのうち東京近郊に住んでいる人が8人。私が初めて参加したのは、20年前だったと思いますが、広島から大谷が出て来ると言うので呼ばれたと記憶しています。

そこには今も集まるメンバーが7人(1歳年上で元自衛隊、画家の太田さん、サウジアラビアの化学屋の池田メジャー系石油屋の宮加谷、教科書作っている河野、ゼネコン系設備屋の西田、紅一点の高宗(竹田)、再エネ電気屋の私と、広島の大谷の6男1女)がいました。それから定期的にではなく、誰かが言い出して集まるといった感じが負担にならないことが、今日まで続いてきた理由かと思っています。自分なりに、仕事やその方面の人間関係ではなく、高校生、広島市民に帰ることができると魅力を感じています。

さて、2年前の今頃だったと思います。昨年からは理事に就任した太田さんと「在京芸陽観音同窓会に出てみる?」でも幹事やらされそうで、抵抗あるね」と話をしたところ、

太田さんから「23回生の人が幹事することに決まったらしいよ」とのお答え。「では出てみるか」と、太田さんと二人で26年度の総会に出席。そこで突然、「今年から、還暦の年次が幹事することになった。」と23回生の先輩のお言葉。「へえ、話違うのお」とは思ったものの結果的には、太田さん中心にこのクラス会を拡張して引き受けることになりました。早速、その年平成26年の忘年会でみんなに協力をお願いし、クラス会も、平成27年度は、広島同窓会出席も含めて4回開催し、まあ、良かった、楽しかったと思うべきか? 少なくとも、観音高校、3年B組を意識した年ではありました。

私事ですが、住んでいる千葉県鎌ヶ谷市は小さな町ですが、鎌ヶ谷広島県人会なるものがあります。そこは広島市にあるS学園高校が中心で、観音高校他の公立5校はマイナーな存在。マイナー存在は存在感を出さないと埋没してしまいます。今年の総会で、挨拶する機会があった際に、「観音高校とS学園高校の違いわかりますか?」と聞いたところ、「偏差値じゃ!」というお答え。私は「クラス会に女性が来ることでですよ、話題豊富で楽しいですよ。」と返しておきました。これは男女共学のメリット、特にうち



のクラス仲間です。写真は広島と大阪からの女性3名(国利(大下)、金子(湊田)、森原)が来京し、昨年5月に開催したクラスの写真です。これだけ女性がいると華やかですね。

還暦も過ぎ、会社も卒業して、ますます3年B組在京クラス会の存在が増してくるものと思います。広島でも同じようにやっているらしいので、今後楽しい交流にしていきたいと思えます。

おたより

小松 一彦 (広島観音31回)

同窓生とのカープ観戦

地元プロスポーツの観客動員数を県の人口で割った「プロスポーツ観戦人口率」なる数字を出すと、広島県は47都道府県で群を抜いて1位になるそうです。そんな広島から東京に出てきて約30年の私ですが、カープへの思い、観戦熱は薄まるどころか、年々ヒートアップしています。

ここ数年は2つのルートで、東京ドーム、神宮、横浜等とともに観戦する同志に恵まれてきました。

1つは、私の勤務先。現在は、東京にしか事業所がない金融機関に出勤中ですが、何故か広島出身者、カープファンが多く、従業員千人規模でありながら20〜30名で団体観戦する様になりました。常務取締役の半分が広島出身者となった昨年からは、役員が会社のポータルサイトでシーズン早々に優勝宣言する等、周囲も苦笑するほどの熱の入り様です。カープの優勝を見たことがない若い女性職員も含め、年齢層は幅広いものがあります。

もう1つは、観音高校繋がりで。昨年の広島同窓会誌でもご紹介があった、フェイスブック卒業者の会のお世話になってから、たくさんの同窓生の方々と知り合うことができました。吞兵衛の私はこの会で吞む為だけに広島への弾丸ツアーを繰り返した時期が

あり、日々カープの話題でチャットの様盛り上がる間柄の後輩達とは、家族の様な絆で結ばれています(笑)。昨年、勤務先で初の広島遠征しての観戦を挙げる際も、高校の後輩達が、スタジアムのレフト側のテラス席を用意して迎えてくれました。そこからは、勤務先の職員と高校の同窓生達が融合するのが当たり前のような関係となり、広島在住の後輩が勤務先の神宮球場での観戦に上京して来たり、勤務先の観戦リーダーの定年退職のお祝いに同窓生が広島からカープグッズを送ってくれたり、親密さが増しています。

さて、今シーズンは、新井さんの二本安打や、男気・黒田投手の日米通算二百勝とチームの士気を高める記録への期待をもってスタートしたカープ。序盤の戦績は好調で、観戦チケットの確保も、なかなか難しくなっています。そんな中、今年の在京同窓会の幹事を牽引される25回卒業の玉垣先輩より、神宮球場観戦のお誘いが。27回児玉先輩、30回下原先輩と4人で観戦した4月26日の試合は、幸運にも新井さんの二本安打達成の日となりました。大記録を後押し、祝福するかの様に、この日のカープは3連続ホームラン、満塁ホームラン

が飛び出し、先輩方との初観戦は、これ以上ないという展開に。試合後、「我々持つてますよね」と観戦者ながら自画自賛。これから、先輩方とも、是非ご一緒していきたいものです。

年齢超えながら、同窓生の方々との観戦は、懐かしい広島市民球場に通っていた頃の自分を思い起こさせ、心身ともに若返ることができました。ただ、カープファンお得意のスクワット応援だけは、続ける体力がありませんが(苦笑)。写真は 左から 25回玉垣さん、筆者、27回児玉さん、30回下原さん



サウジアラビアの

女性と意識変化



池田 利行 (広島観音24回)

世界最大級の原油埋蔵量、生産量を誇り、日本の原油輸入の33%を占めてトップの供給国であるサウジアラビアについて、皆さんはどれほどご存知でしょうか？ 砂漠、お金持ち、無税、医療も教育も無料、イスラム教の聖地メッカ、禁酒、4人までの妻、女性の自由の制約：：などでしょうか。

最近の原油の低価格推移などで、日本の新聞等でも取上げられる機会は増えたものの、まだまだ遠い国サウジアラビア。筆者は石油化学会社に勤務し、サウジで初めての日サ合弁国家プロジェクトの石油化学会社の、立上げ時(1986〜1988)にはエンジニアとして、操業20年後(2004〜2007)には副社長として、通算5年間駐在しました。

創業当時は日本人が百五十人以上赴任していましたが、技術移転が早期に達成され、今では従業員約千五百人中日本人は数名という圧倒的アウェイ状態ですが、安い天然ガス原料を武器に大きく成長したプロジェクトになっています。

サウジは国土の大部分が砂

漠の国ですが、裕福で近代化が進み、歴史的な欧米との密接な関係からインフラ、都市会社経営などは欧米スタイルで構築されており、想像に反して外国人にとっても生活は快適です。

ただイスラム教の中心として、また王制の維持の求心力として宗教の戒律は依然厳しいものがあります。その中の女性の生活について、現状女性の自覚、起きている変化等について紹介したいと思いません。

サウジでは、女性が家族親族以外へ顔を見せる事は宗教で禁じられていて、外出時には、アバヤという真黒のマントのような民族衣装を頭からかぶり、目と手足の先以外はすっぽりと隠されています。また、外出する事、働く事への制約も多く、車の運転は法律で禁じられています。もちろん結婚前の男女が知合ったり、デートをしたりする事は無く、ほぼ100%、双方の母親が中心となって相手を見つけて見合結婚です。

蛇足ながら、酒も男女交際も、居酒屋もカラオケも無いので、いわゆる不良少女少女は皆無いです。

しかし一方で女性は迫害されている訳ではなく、しっかりと保護されています。多分98%以上の男性は妻が一人であり、複数でもせいぜい二人で、完全に平等に扱わないといけないません。結婚の際には必

ず契約が結ばれ、お金や財産の持ち方から、離婚した場合に男性がいくら賠償するか、例えば大学に通っている新婦は卒業まで通学させる。とか、結婚するにあたっての約束が種々細かく策定されます。

サウジ人の部長と日サの結婚事情について話し合っていたら、「えっ？日本では契約も結ばずに結婚するの？！」ともものすごく驚かされて、こちらが驚いた事があります。

また、中東では金を始めとする貴金属・宝石などの装飾品が有名ですが、これは着飾ることのみならず、女性自身の財産形成という目的が大きいです。

またアバヤの下の服装は非常に派手なようで、首都リヤドの高層ビルなど国中に多数有るブランドショップには、色鮮やかで派手な女性の衣装やアクセサリー、バッグなどが溢れています。

このようなサウジですが、近年は女性の意識が向上し、大学へ行く女性、留学する女性、働く女性、教師、ITの講師、女性用の歯科医師から、金融ビジネスなどへの進出も顕著が増え、男性以上に旺盛な労働意欲を示しています。

アバヤは着るものの、顔は隠さない行動的な女性も増え、社会全体の意識も（ゆっくり、少しずつですが）それを認知する方向になってきています。原油収入へ依存しない国を目指して変わろうとしているサ

ウジで、女性の生活が今後どの様に変化して行くのか、期待を持って見守りたいと思います。

「元事務局長の独り言」



龍山 昇
(広島観音9回)

☆事務局長

当同窓会に「事務局長」という役職は存在しない。会則に「本会の運営を円滑に進めるため、事務局を置き、本部を事務局担当理事に置く」とあり、その事務局担当理事が事務局長なのである。

事務局の主な仕事はお金と会員の名簿の管理、それに総会を担当する幹事さんを支援すること。他にこまごま進めるとした「会の運営を円滑に進める」ための雑用である。

2006年から10年間、部下はいない一人孤かなボジションだったのが、常に気掛かりだったのは、このやり方を自分一人しか知らないことだった。もしものことがあったら後がどうなるかと、心配でならなかった。

☆お金と名簿の管理

当会のお金の管理は郵便局

に楽になった。

☆決算報告

当同窓会の収入は会費と寄付でほとんどを占める。総会費は総会の会場費でほとんど消えるので収支はトントンである。2014年度までは入金と会費が会報発行の費用に当てられる構造になっていた。2015年度からは、会費制から会報発行支費と寄付を募る制度に変更したが、いずれにしても、会員のみなさんの支援が基になっている。これらの資金は郵便局の当座預金で管理されているが、資料のコピーをしたり、小口の郵便を出したりといったことに多少の現金を用意し、支出のたびに領収書をもらいノートに記録して管理した。

年度が終わると、その両方を合わせて決算書をつくる。そのとき悔しいことに収入と支出がぴたりと合わない。高々数千円の収支が合わないのは悔しくて気持ちが悪い。これを是正するには、毎月決算書を作る必要があったかもしれない。

☆幹事の選任

意外に苦労したのは、幹事選任であった。総会が終わった後に次年度の幹事を選ばねばならない。が、口下手の自分には苦手であった。該当年次で会費を払ってくれている人に、電話をしても素っ気な

の当座預金を用いている。会費が振り込まれると郵便局から通知が来る。それには年度で通し番号が付いていて、それを本部からもらった名簿を加工して記録できるようにした。預金の残高は郵貯のシステムで計算されているので、管理にはさほど負担はなかった。しかし会費の納入状況の管理は煩雑だった。当会は少なくとも3年間は会報を送るし、会費の納入が途絶えても2年間は送るというものだった。これにはウインドウズの優れもののソフトのエクセルが活躍した。前年度の会費納入者、1年滞納者、2年滞納者を色別で管理し、名簿に追加記載していった。そして会報を送る際に、会費の納入状況に応じて、それぞれ1年分、2年分、3年分の会費の振込伝票を封筒に詰めるのが仕事だった。しかし、2015年度から会費制を止め、会報を全員に配るようになり、この仕事から一部例外を除いて解放された。

名簿から名前を探す作業も頻繁にあった。そのときもエクセルが活躍したが、余りにも「達筆」がために読めない漢字だったり、通常に使わない漢字だったり、同じ漢字でも色々な書き方がある字があるのには苦労した。これも2015年度から振込用紙に会員番号を記入するようになって非常

く断られてしまう。誰がいるのかも知らないと言うので、同期の人の名簿を送って協力してもらったりもした。電話では駄目ならと手紙を出すことに転換した。そうすると一人ぐらいは返事をくれた。

☆発送作業

ここ2年程は会報を封筒に入れる作業を印刷屋さん依頼しているの、幹事さんの負担は軽くなっているが、それまでは会議室の様な場所を確保して、幹事さんと事務局で、会報を三つ折りにし封筒に詰めていた。五百〜六百通を入れるのに一日仕事であった。事務局長の自宅に届いた会報と宛名ラベルを貼った封筒を段ボールに入れ、封入作業をする日の朝会場まで運んだときのこと、早朝のラッシュアワーの時間にぶつかり難儀したこともあった。

☆ヤマト運輸

会報の配布はヤマト運輸のメール便を使っていた。1通82円で、近くのコンビニから送れたし、少数でも送れたし非常に便利でもあった。ところが2015年にメール便が廃止され、新たに「クロネコDM便」という契約を交わすことになった。大筋では問題はないが細かいところで不便になった。会報を大量に発送する場合は良いが、2〜3通を小刻みに発送する必要があ

り、従来はコンビニで1通82円で済んだのに、ヤマト運輸に連絡して取りにきてもらうか、配送センターまで持つていくかしなければならなくなった。さらに支払いが銀行振り込みになってしまい、2〜3通のメール便を出すのにも、わざわざ郵便局に行かねばならず、とても不便になった気がする。

☆最後に

事務局の仕事はこういった雑用が多い裏方の仕事である。事務局に限らず同窓会に関わる人は無報酬のボランティアでやっている。会報の発行や役員会、幹事さんの打ち合わせのために集まる交通費も自己負担にしてもらっている。同窓会とは母校への愛校心で繋がれた人の集まりで良いのではないか。そういう心を持った人が集まり、多くなれば観音高校の同窓会は永久に残るのである。

これだけ小さな組織でも組織があれば人事がある。ほんの少しのボタンの掛け違いで、気を病んだこともあったが、役員の方々の協力で無事に役目を終えることができ、感謝の念にたえない。

毎年新しい幹事さんと親しくなったこと、本部の金藤さん、吉村さんに大変お世話になり楽しく仕事ができたことは良い思い出になります。有難うございました。

新理事挨拶



太田 信三
(広島観音 24回)

わぬ余縁に与かることとなり、現在に至っています。また、在京同窓会への参加は、23回生の方が当番幹事を務められた一昨年からです。その様な経緯もあり、一昨年も当番幹事のお手伝いをさせて頂きました。

私は、高校卒業後、数年は若気の至りで、大学へも行かず世の中を彷徨して居りましたが、22歳の時に、縁あって航空自衛隊に入隊しました。その後、自衛隊で勤務しながら大学の2部を卒業し、27歳で、本人の所感としては、正に奇蹟的に、幹部候補生試験に合格して自衛隊の幹部となり、以後、55歳の定年まで、主として、首都圏に所在する、補給調達部門の勤務地を転々とする、デスクワーク中心の実質的には、殆ど一般の公務員と変わらない生活を送っておりました。

その一方で、中学で始め、観音高校在籍時も美術部に所属し、それなりに描いていた、油彩画制作の趣味を、自衛隊在職中も、時には数年間全く絵筆を取らないこともあると言、甚だ頼りない状態ながらも、一貫して継続して来ましたが、そして、定年の1年前に、偶々、広島での同窓会総会に参加した折、23回生の元美術部員と35年振りに再会したのが縁で、横浜在住の画家の知己を得、定年退職後は、その

方に師事して、公募展入選を目指した、油彩画の制作に情熱を注いでいます。そして、幸いにして、2009年以降、連続入選を果たし、昨年、晴れて所属団体である一陽会の会友となることも出来、ハリのある、充実した「画家」人生をスタートしたところで、なお、理事としては、会報の作成を担当させて頂くこととなりました。何分不慣れな事でもあり行き届かぬことも多々あるかと存じますが、一所懸命務めますので宜しくお願い申し上げます。

芸陽観音ゴルフ会

2015年

在京芸陽観音ゴルフ会報告
久保田 裕二(広島観音18回)

第55回春季コンペは4月22日にゴルフ倶楽部成田ハイッリーにて開催されました。

13名の参加中、我が同期(観音18)を4名そろえ1、2、3位を狙った1ーわけではありませんが、見事観20に1、2位をさらわれ観18は3、4、5位に終わってしまいました。ともかく、二中22の石丸様から観20まで幅広く参加いただき楽しく交流できました。

- 優 勝：松本直和(観20)
- 準優勝：森山康三(観20)
- 3 位：大中 進(観18)
- ベスト：森山康三(スコア89)

第56回秋季コンペは10月29日に武蔵松山カントリークラブにて開催されました。13名の参加にて、好天の中難しいグリーンで3パットを積み重ねる私とは違い、森山・田中・今本3氏によるデットヒートが練り広げられ、結果僅差でグロス通りの順位となりました。

優勝：森山康三（観20）
準優勝：田中義一（観20）
3位：今本智行（観14）
ベストスコア：森山康三（スコア85）



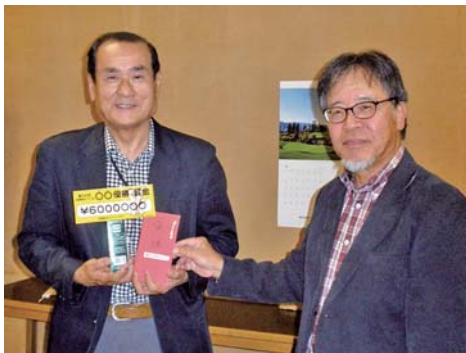
今回参加いただけなかった大先輩の川崎様（二中17）から「ちよつと足のむくみが取れず今回は参加を断念！次回は是非。」と連絡を受けており、90歳過ぎてもゴルフへの情熱はますます盛ん、我々も90歳オーバーまでこのコンペに参加を目標に日々精進せねばと。また、観20より若い同

窓生の方もぜひ参加していただきたいものです。

**優勝の弁
（第56回秋季コンペ）**

森山康三（広島観音20回）

2005年からこの会に参加していますので、15、16回の参加で、今回五度目の優勝となります。参加してよかった事は、諸先輩の元氣なプレーを見る度に、自分に元氣をもらえる事。そしてこの会を通じて、同期20回生に沢山の知り合いができ、今では毎月のように、みんなとゴルフを楽しんでいます。これからも健康に気をつけて長く参加したいと思っています。願わくば、私のベストグロススコアを脅かすような若手が参加しますように願っています。何しろ私が最年少ですから。



ゴルフリレー交友録

久保田裕一（観音18回）

7年前にもゴルフ交遊録に寄稿させていただきましたが、当時のゴルフ仲間とは同期も含まれまだ仕事に忙しく、土日のゴルフがほとんどでした。しかし、最近は、ほぼ皆リタイヤ組となり、もっぱら平日ゴルフにて安くて良いコースで楽しんでおります。

さて、この交遊録を書かれている方は、ホールインワンやエージシユート、日本や海外の名門コースの話、ドライバークが飛びすぎて3打目を打とうとしていた前の組の人に当たった、などの武勇伝？ばかり、お気軽ゴルフを目指している私には縁遠い話ばかりです。しかし、私にも一つエピソードがありました。

40歳ごろ、それは台湾の北投中華ゴルフ場のことです。「ガシャーン！」と、ガラスの割れた音が頭の中で鳴り響き……。当時、国内生産の時計を台湾に生産をシフトし始めた取引先と仕事中心？いやラウンド中の出来事です。取引先の許さんが数メートル離れたところから「久保田先生ドシテネテイルノ!」。そう、隣のコースから林をすり抜けたボールが眉間近くを直撃したので。意識はあったのですが倒れたまま動けません。

救急車で病院に運ばれMRI検査の結果とりあえず脳には異常なしとのこと、ただあと1cm真ん中よりだとうなつたか、またもう少し下だと（当時ハードコンタクトレンズをしていた）目に当たり失明の可能性もあったとのこと、あの意味運が良かったのかも知れません。病院には、なぜか昨夜に行ったクラブのママさん・チーママさんたちまで見舞いに!。また、許さんの奥さん（元看護婦）の手厚い介護後日聞いたところではママさんは取引先会長の愛人（ただし先妻をなくしたあと？のお付き合い）だそうです。一時代昔の日本でも聞いたような話ですね!

以来、取引先とは仕事の結びつきも強くなり、在職中のみならず独立後もギブ&テイクの関係が続き、今では許さんが会長に。「災い転じて福となす。」ではないですが、ゴルフのおかげで台湾にも多くの友人ができ、また元の会社の同僚や高校・大学の仲間たちと今もゴルフを通じて交友できることは、下戸の私にとってはとてもありがたいことです。ただ、みなさんゴルフアー保険には入っておきましよう。〇〇君のように保険に入っていたおかげで、クラブのママさんにボールをぶつけても、すべて保険でまかなえた人もいますし、ホールイ

ンワンをするかもしれません。では、今回は、芸陽観音ゴルフコンペに最近紅一点で参加のスポーツウーマン、掛水（観20）東京女子体育大教授にお願いしたいと思います。

物故者御氏名

昨年からは今年に掛けて亡くなられた方のお名前です。
謹んでご冥福をお祈りいたします

- 中野忠彦（観音6回） 平成27年3月16日逝去
- 山田弘治（観音23回） 平成27年4月8日逝去
- 中村洋一郎（観音11回） 平成27年4月逝去
- 吉原千秋（二中23回） 平成27年4月21日逝去
- 脇野勝彦（観音2回） 平成27年5月17日逝去
- 牧野俊美（観音7回） 平成27年6月26日逝去
- 入野至保（観音13回） 平成27年8月13日逝去
- 安井剛（観音14回） 平成27年8月21日逝去
- 大本龍之介（二中22回） 平成27年9月28日逝去
- 上杉襄一（二中22回） 平成28年1月12日逝去
- 田中純夫（二中22回） 平成28年2月逝去

平成27年度会報発行支援費・寄付納入者

(敬称略)

二中 東京都

回 氏名

- 9 西亀 達夫 (物故者)
- 12 伊藤 得平
- 17 胡子 英幸
- 17 山下 勲
- 18 金秋 民雄
- 18 河村 義正
- 18 瀬尾 海造
- 19 大石 久
- 22 谷浦 正記
- 22 湊 徳夫
- 23 平本 善一
- 25 鼻岡 正明

二中 神奈川県

- 17 熊澤 康男
- 21 塚川 知
- 22 上杉 襄一 (物故者)
- 22 亀井 賢伍
- 22 松本 正
- 22 山本 英雄

二中 千葉県

- 21 加藤 史昭
- 22 石丸 恵照

二中 埼玉県

- 20 牧尾 良典

観音 東京都

- 1 影澤 陽子
- 3 横田 美保子
- 3 榎田 辰昭
- 3 蒔田 尚昊
- 3 山木 和雄
- 4 高橋 滋
- 5 吉良 正志
- 6 今坂 譲
- 6 榎野 弘二
- 6 織田 好江
- 7 河西 寿子
- 7 対馬 恭子
- 7 川本 悦司
- 7 齋木 勝司
- 9 百武 妙子
- 10 福尾 政道
- 11 中村 洋一郎 (物故者)
- 11 藤井 明
- 13 谷本 多徳
- 13 土屋 ソノエ

観音 東京都

回 氏名

- 13 土居 将憲
- 13 杉野 信子
- 14 原 康
- 14 湯谷 成人
- 14 森 勝和
- 14 梶原 喜久子
- 14 梶谷 久美子
- 15 三宅 博光
- 15 有田 進治
- 15 西山 史朗
- 15 竹ノ谷 貴代子
- 16 片田 元己
- 16 野村 昌弘
- 16 倉地 晴子
- 16 今田 浩子
- 16 大城 守雄
- 16 高木 香代子
- 17 岡本 義次
- 18 市岡 進
- 20 小豆原 博子
- 20 栗栖 正
- 20 松本 直和
- 20 木村 委津子
- 20 中村 敏樹
- 20 山本 由美子
- 20 黒田 美和子
- 20 掛水 通子
- 20 佐藤 洋子
- 20 高橋 昭子
- 21 玉木 研二
- 21 永井 俊彦
- 21 川島 紀文
- 21 堀 一恵
- 22 田中 光晴
- 22 熊谷 有希子
- 23 岩本 宏紀
- 23 荻本 和利
- 23 齋藤 敏文
- 23 千川 一司
- 23 須田 尚子
- 23 鈴木 ゆみ
- 23 井迫 敏郎
- 23 藤川 優子
- 23 峰岸 洋子
- 24 太田 信三
- 24 宮加谷 啓史
- 24 鳥越 正敏
- 25 板垣 敬子
- 25 玉垣 俊彦
- 25 藤井 高文
- 25 吉岡 豊
- 25 江口 英則
- 25 松井 明子
- 26 高橋 康哲
- 26 藤近 直也
- 29 吉岡 千春

観音 東京都

回 氏名

- 30 橋本 篤範
- 30 山上 園子
- 30 榎原 政博
- 30 石川 実
- 30 神戸 英代
- 30 瀧 秀明
- 31 三谷 啓子
- 31 牧田 由美子
- 31 大森 裕子
- 31 福田 修子
- 32 大山 誠
- 32 安井 圭子
- 34 井上 麻里
- 35 佐々木 孝治
- 37 鎌田 茂

観音 神奈川県

- 3 谷口 正明
- 3 平塚 功
- 3 森政 忠雄
- 4 橋本 三千司
- 5 小田 寛
- 5 清水 幸浩
- 6 平田 博義
- 7 柳田 陽子
- 7 寺本 昇
- 8 宇都宮 浩三
- 8 山田 明
- 9 中原 慈枝
- 9 瀧山 昇
- 9 山野 真純
- 9 渡部 亮一
- 10 山根 華子
- 10 平賀 源太郎
- 11 森脇 峻一郎
- 12 河野 喜己子
- 13 小林 信博
- 13 山野 日出子
- 14 三宅 洋
- 14 古田 正雄
- 14 佐伯 陽子
- 16 伊東 利成 (物故者)
- 16 沖野 正則
- 16 岡本 正行
- 17 吉岡 比古次
- 17 清水 暢之
- 17 蔵岡 紀美子
- 17 西田 忠司
- 17 早志 信治
- 18 大城 秀夫
- 18 太田 壽一
- 19 中尾 真澄
- 19 清水 日南子
- 20 田中 義一

観音 神奈川県

回 氏名

- 20 松原 邦雄
- 20 岩瀬 清子
- 20 綿平 初起
- 20 竹森 裕子
- 20 志和木 薫
- 20 灰谷 真知子
- 21 友松 隆志
- 22 石渡 弓子
- 23 大久保 浩孝
- 23 樺山 都朗
- 24 高宗 貴子
- 24 岡尾 敬一
- 24 村田 かず子
- 24 生三 美保
- 24 兼利 和彦
- 24 田中 洋子
- 25 道上 正邦
- 26 斉藤 充子
- 26 中村 能章
- 29 光吉 喜久巳
- 30 高野 進一
- 30 藤沢 昌隆
- 31 亀津 雅子
- 33 三浦 みき子
- 34 織田 真枝

観音 埼玉県

- 6 浜田 光江
- 6 藤田 尚美
- 7 塚原 歳子
- 7 中野 春美
- 11 武藤 達
- 11 後藤 幸子
- 11 田中 秀穂
- 12 久保田 三紀男
- 12 迫田 芳子
- 13 杉本 俣男
- 13 佐伯 紗代
- 14 佐伯 博行
- 15 奈良原 章子
- 17 原田 幸子
- 18 清水 純
- 18 久保田 裕二
- 18 内富 幸司
- 20 富岡 和隆
- 20 藤原 美岐子
- 20 升野 和江
- 20 倉成 由美子
- 20 竹内 正憲
- 20 猪原 陽子
- 22 福田 みどり
- 27 吉岡 寛
- 31 小松 一彦
- 38 前澤 美知子
- 42 金丸 哲也

観音 千葉県

回 氏名

- 3 伊藤 俊彦
- 4 安藤 幸代
- 7 宮川 京子
- 7 大谷 恵子
- 9 渡辺 敏章
- 9 立川 妙子
- 9 仁賀木 寿子
- 9 丹下 容子
- 10 井上 佳子
- 10 岡崎 巖
- 11 木場 照美
- 11 世良 宣義
- 12 島田 拓史
- 12 新宅 幸子
- 14 今本 智行
- 14 竹内 紀久子
- 16 中村 修子
- 16 土井 泰秋
- 17 中田 君子
- 17 池田 玲子
- 17 永山 成一
- 17 貞利 直子
- 18 和田 真
- 20 安部 敏子
- 20 石田 由子
- 21 林 節子
- 21 西山 篤
- 21 加藤 雅江
- 22 今井 法子
- 23 山村 慶三
- 23 阪井 忠義
- 23 脇田 直
- 23 福原 美幸
- 24 郡 哲二郎
- 24 池田 利行
- 24 入矢 桂史郎
- 24 檜山 喜一
- 25 名川 裕子
- 26 八塚 英嗣
- 29 奥村 雅之
- 30 下原 夏樹

観音 茨城県

- 9 長松 宏
- 14 角井 勝利
- 15 津久井 道子
- 16 長野間 宏
- 16 埜本 朋子
- 25 二井内 佳能
- 25 斎藤 充子

※以上、250名の皆様、ご寄付、ご支援ありがとうございました。平成28年3月末日現在

事務局からのお願い

会報全員配布へ積極的なご支援を！

皆様には、同窓会活動にご理解の上、毎年沢山の方から会報発行支援費や寄付を頂きまして大変有難うございます。

同窓会活動も、広島二中から広島芸陽高等学校を経て、広島観音高等学校へとバトンタッチしてまいりました。そして今年は在京芸陽観音同窓会として30周年を迎えます。

その節目の年だけに、総会も、より多くの同窓生を迎えて賑やかに開催したいと思います。

母校の同窓会では、資金難の関係で、会報を毎年全員に配布することが出来なくなりましたが、在京芸陽観音同窓会としましては、このようなことにならないよう、皆様の積極的な会報発行支援および寄付を重ねてお願いいたします。(発行支援費は、一律1000円としておりますが、それ以上の御支援を頂ける場合は、寄付金としてお振込み下さい。)

なお、今年より、振込先が、従来の在京芸陽会から在京芸陽観音同窓会に変更となりました。添付の振込用紙に総会・懇親会の参加、会報発行支援、寄付のそれぞれに該当する行に☑(チェック)を入れ、その合計金額を振込金額に記入して下さい。

会員番号は皆様の宛名(封筒貼付)の右上の枠の中の9桁の数字をご記入下さい。なお、振込に際しましては、手数料削減のためATMでの振込をお願い致します。

事務局 齋藤 敏文 / 電話：03-3532-4011

編集後記

太田 信三(広島観音24回)

この度、新たに理事となると同時に、会報の編集を担当してくれと依頼され、一瞬たじろぎましたが、これも良い経験になるだろうと感謝し、お受けすることにしました。同窓会結成30周年を機に、従来にない新しい企画をと言われ、思案中のところへ、7月に「いしぶみコンサート」を催すという話が飛び込んで来たのは幸いでした。その公演に関わる方達への投稿を依頼し快諾を得たことを契機に、以後も投稿を依頼し快諾を得ることの連続で、取材の苦勞を殆ど感じずにここに至ったことは、皆様のご協力があっての賜物と感謝致しますが、来年もこんなに上手く行くのだろうかと思いが、来年もこんな上手く行くのだろうかと思いが、一抹の不安も残る編集体験でした。

近年の、私達、日本人を取り巻く国内外の情勢は、米国と中国の対立が鮮明になりつつある現状から、先の見えない混沌としたものになっています。私自身、人類最初の原爆の被爆地広島に生まれ育ち、且つ、我が国の独立と平和を守る存在としての自衛隊に身を置いていた者として、国際平和の実現を希求する思いは、人一倍強いものが有ると自負しています。

我が国のあるべき姿については異なる意見が対立していますが、その様な情勢の中での、5月27日アメリカ合衆国オバマ大統領の広島訪問は、歴史的に大きな意味のある出来事でした。前日から伊勢志摩サミットで、天照大御神の光輝く伊勢の伊勢志摩サミットで、70年前地獄の光を放った国の指導者が、謝罪こそせぬものの、原爆慰霊碑に詣でたその姿は、核兵器廃絶への希望の光を投げたかに見える象徴的なものでした。それをせせら笑うかの如き悪性の周辺国の存在を考えれば、ごく近未来に現実的なものと成り得るとは、とても思えません。2016年10大ニュースのひとつになるのは確実です。

ところで、観音と言う地名は、東観音にある観音院と言うお寺に由来するようですが、そこに祀られている観音様は、真実を見通し、全てを平等に見る智慧と慈悲を持ったお方だとか。そこで私も、観音高校卒業生として、この観音様にあやかっただけの先の見えない世界に潜む真実を見通せるようになるものだと思う今日この頃です。

在京芸陽観音同窓会 2014年度決算報告書(単位:円)		2015年3月31日
前年度繰越	544,624	
収入の部		
総会会費	534,000	80名
初年度維持会費	41,000	41口
年維持会費	189,000	1年分189口
	18,000	2年分9口
	15,000	3年分6口
寄附	3,000	
広告費	20,000	
計	820,000	
支出の部		
総会会場費	587,760	
会報印刷費	167,942	
振替手数料	31,566	
郵送料	60,352	
打合せ費用	30,000	
払い戻し	34,000	
その他(注)	5,652	
計	917,272	
次期繰越金	447,352	
内訳	振替口座	424,577
	現金	22,775
(注)その他		
複写・用紙代	1,330	
印刷代	94	
振替用紙印刷代	1,102	
運賃費	1,088	
手数料	2,048	
計	6,652	

以上、掲載ありません。
 観音20日卒 幹事 田中 茂一

企業、グループ、個人の広告募集中です！
 当会理事までご連絡ください。

Thumbs up ドレス系アクセサリーブランド Thumbs up(サムズアップ)
 西武池袋本店5階および西武ネットショップにて展開中



西武ネットショップ
<http://edepart.7netshopping.jp/ss/brand/002215/>
 ZOZOマーケット <https://thumbs-up.stores.jp/>

ADVANCE
 観音25回卒業 玉垣俊彦

世界各国の輸入ファブリック
 美しい暮らしの創造をお手伝い

IONIA Ltd.
<http://www.ionia.co.jp/>

株式会社 イオニア
 〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西 1-34-28-202
 TEL 03-5728-2891 FAX 03-5728-2892